

放送番組センターの事業概要

2018年11月30日

公益財団法人 放送番組センター

1. 公益財団法人 放送番組センター

- 公益財団法人 放送番組センターは、横浜市に「放送ライブラリー」を設置し、NHK、民放、放送大学で放送されたテレビ、ラジオ番組、CMを文化資産として収集、保存し、一般公開する事業を実施している。
- 事業は、放送法第167条の指定を受けて1991年度に開始。2018年10月末現在の公開本数は約32,000本。
- 運営経費は、民放、NHK、横浜市からの拠出金など、基本財産100億円の運用益と、NHK、民放、民放連による毎年の出捐金で年間約3.7億円。

種 別		保存本数	公開本数
番組	テレビ	23,833本	16,485本
	ラジオ	4,991本	4,428本
計		28,824本	20,913本
CM (テレビ・ラジオ)		11,071本	11,071本
合 計		39,895本	31,984本
ニュース映画	1956年～1970年		749巻／2,683項目

(2018年10月31日現在)

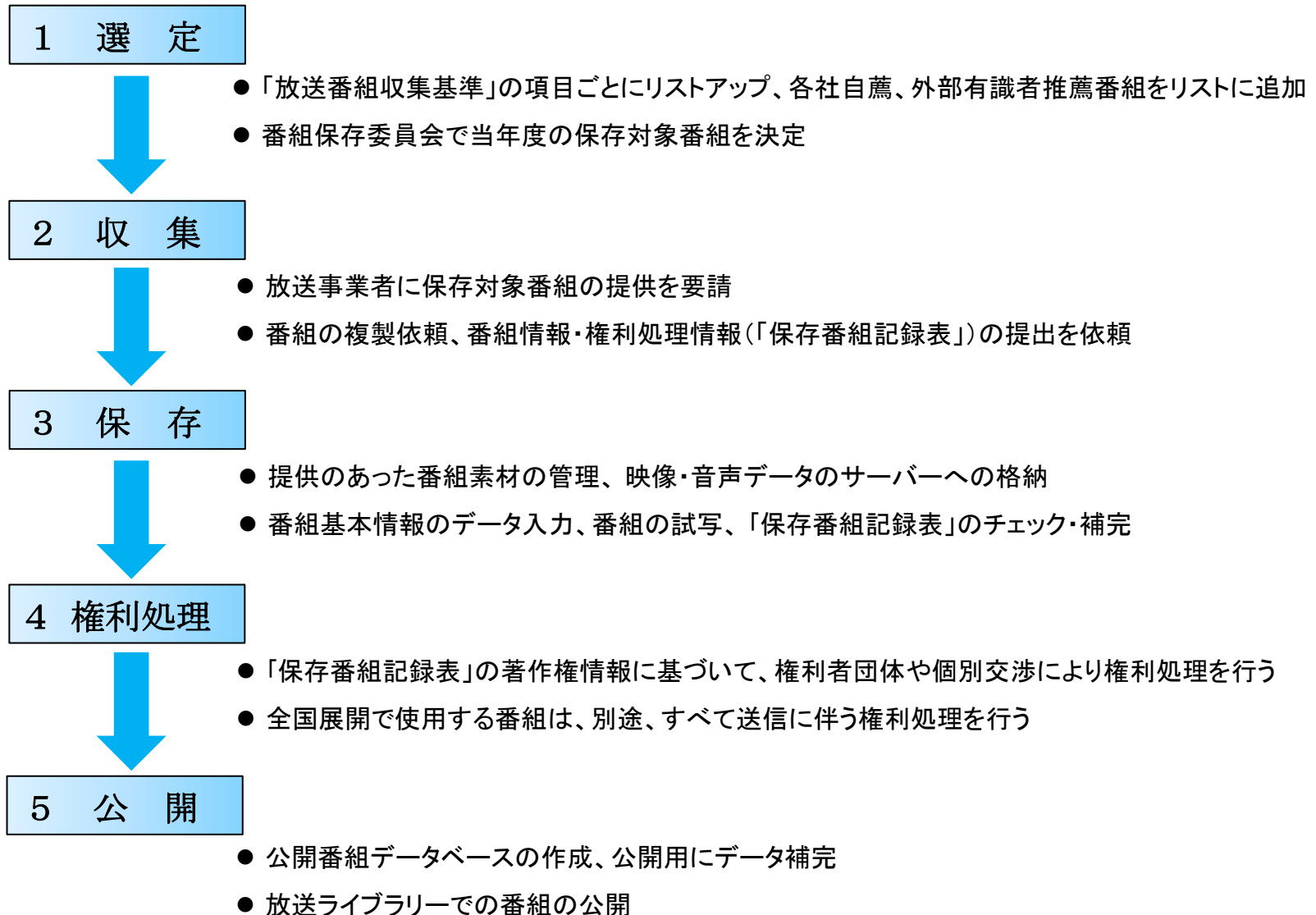


2. 放送ライブラリーの設備

- 1) HDDサーバーによるVODシステム（音声コンテンツ、CMを含む）
ストレージ容量：40TB
格納フォーマット：テレビ番組 HD 8Mbps (H.264) SD 3Mbps (H.264)
ラジオ番組 192Kbps (MP3)
- 2) 番組視聴ブース：60台（100席）全席フルハイビジョンモニター。
1～2人席：27インチ、3人席：32インチサイズ。音声はヘッドホンを使用。
- 3) 研究者ブース：2台（放送関係資料を別室に保管）
- 4) 展示スペース：550㎡（ウェルカムTV、放送お茶の間物語、プレイバックシアター、きみはTVディレクター、ニューススタジオ、ライブTVウォール、放送のしくみ、フューチャーTV、放送クロニクルウォール）
- 5) イベントホール：124㎡
- 6) 映像ホール：81㎡（55インチ液晶ディスプレイ等を設置）



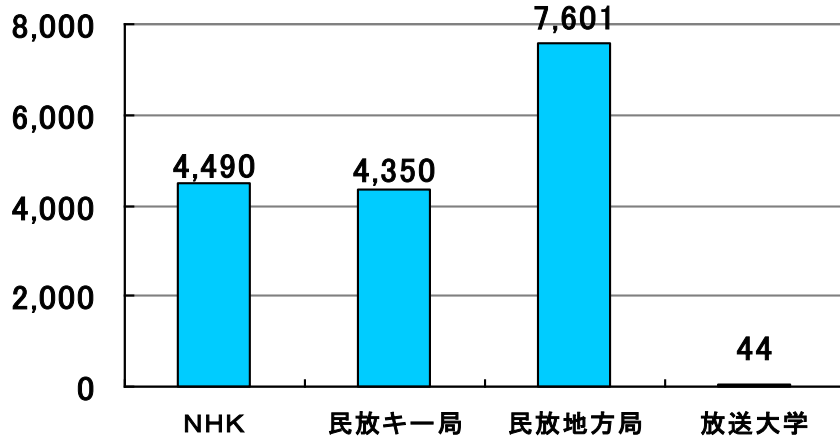
3. 放送番組の選定から公開まで



4. テレビ・ラジオ番組の公開本数

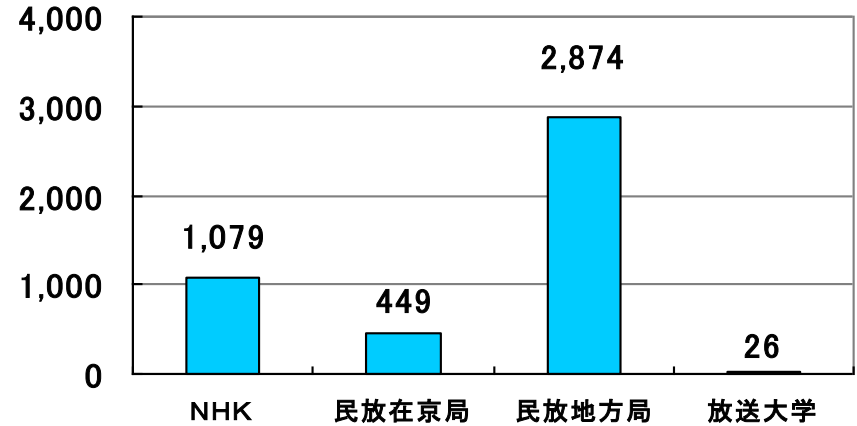
テレビ番組

(1) 放送局別

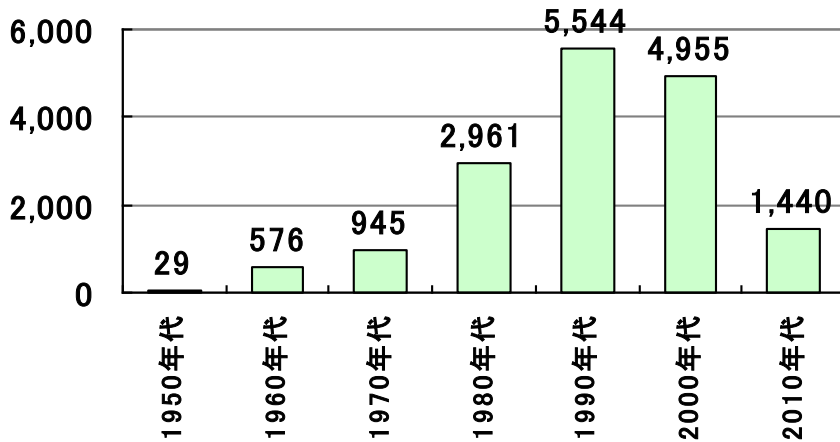


ラジオ番組

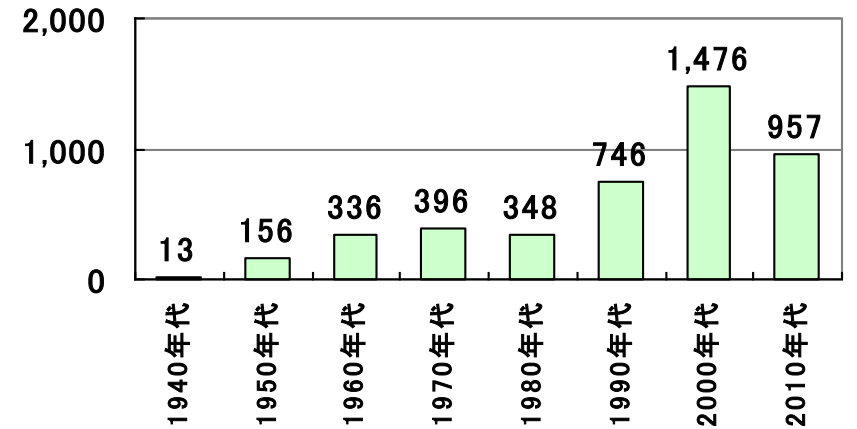
(1) 放送局別



(2) 放送年代別



(2) 放送年代別

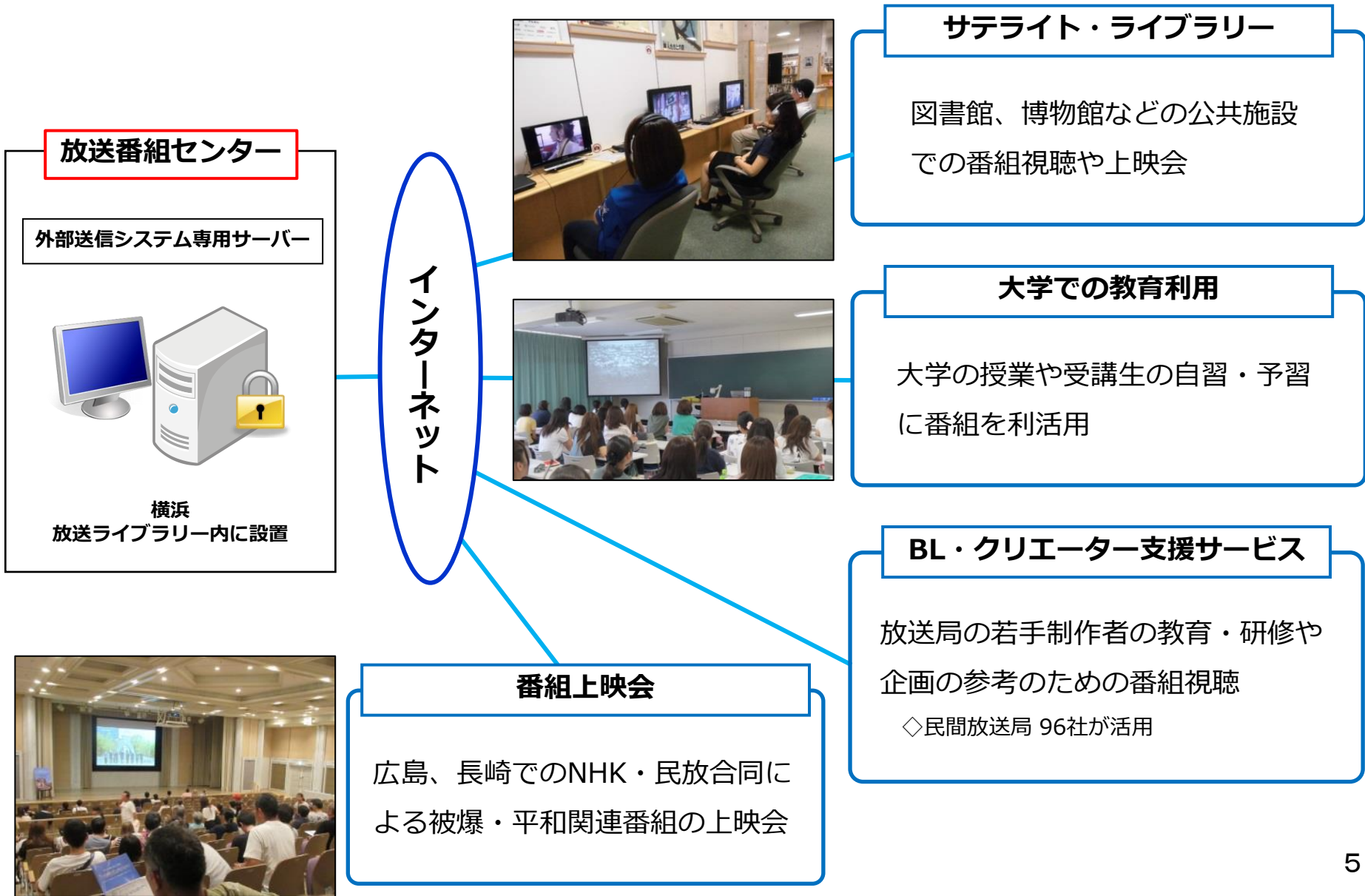


テレビ番組公開本数 合計 **16,485**本 (23,833本を保存)

ラジオ番組公開本数 合計 **4,428**本 (4,991本を保存)

(2018年10月31日現在)

5. 全国展開事業



放送番組センター

外部送信システム専用サーバー



横浜
放送ライブラリー内に設置

インターネット



サテライト・ライブラリー

図書館、博物館などの公共施設
での番組視聴や上映会



大学での教育利用

大学の授業や受講生の自習・予習
に番組を利活用

BL・クリエイター支援サービス

放送局の若手制作者の教育・研修や
企画の参考のための番組視聴

◇民間放送局 96社が活用

番組上映会

広島、長崎でのNHK・民放合同に
よる被爆・平和関連番組の上映会



6. 全国展開 番組利活用実績（公共施設）

【サテライト・ライブラリー事例】

諫早市立諫早図書館

諫早市は脚本家・故市川森一氏の出身地である市川氏脚本のドラマ75本を放送ライブラリーで公開している

諫早市を舞台にしたドラマや長崎、諫早に関連する番組16本を図書館で個別視聴に対応

広島平和記念資料館、長崎原爆資料館

放送ライブラリーで公開している「被爆・平和」関連番組は広島約200本、長崎約45本あり、そのうち広島、長崎のNHK・民放局が制作した「被爆・平和関連番組」を各館資料室で公開している

- ◇広島平和記念資料館では関連番組13本を公開
- ◇長崎原爆資料館では関連番組8本を公開

サテライト・ライブラリー（16施設 使用番組数315本）

個別ブースでの視聴	期間限定での上映
諫早市立諫早図書館	NHK・民放局合同番組上映会〈広島／長崎／宮城〉
広島平和記念資料館	その他、県立図書館・市立図書館など5施設（予定を含む）
長崎原爆資料館	
その他、県立図書館・市立図書館・大学図書館など5施設（予定を含む）	

7. 全国展開 番組活用実績（大学）

【大学での教育利用事例】

国立大学

「マスメディア論」

テーマ：テレビ番組で見る
戦後日本

ドキュメンタリー、ドラマ
など9本を利用

授業中に上映

私立大学

「デジタルアーカイブ論」

テーマ：テレビ番組の
メタデータ制作実習

放送番組センター制作番組を
利用

映像にある写真や動画から
番組の内容や使用されている
著作物などの関連情報を読み
解く実習

公立大学

「映像研究」

テーマ：番組を映像表現、記録
性、社会性、歴史的側
面から検証・分析し、
映像の可能性を見出す

ドキュメンタリー、ドラマなど
3本程度利用

授業中の上映のほか、学内の
LL教室で予復習の個別視聴

大学での教育利用（11大学 18授業 使用番組数127本）

国立大学	「マス・メディア論」「英語で読む日本近代史」
公立大学	「映像研究」「演習Ⅱ」「映像ジャーナリズム論」
公立短期大学	「社会福祉援助技術論Ⅰ」「医療福祉論」
私立大学	「デジタルアーカイブ論」「広報関係論Ⅱ」「メディア文化論」「現代社会とメディア」 「テレビ論」「映像メディア論」「メディアリテラシー」「放送史Ⅰ」「社会福祉政策論」 「公的扶助論」「日本近代文学とマスメディア2」

8. その他

(1) 放送文化に対する理解を促進する事業の実施

- 1) 放送事業者と連携して放送文化の振興に寄与する、企画展・公開セミナーを開催。
 - ・春秋年2回開催の企画展「人気番組展」ほか、放送番組に関連する展示会・企画展
 - ・放送人の会と共催の公開セミナー「名作の舞台裏」「人気番組メモリー」
 - ・公開セミナー「制作者に聞く!」「ラジオを楽しむ!」など
- 2) 放送ライブラリーの公開番組を様々な視点から選び、番組上映会「番組を視聴する会」を開催。
 - ・「阪神淡路大震災」「東日本大震災」関連番組の上映会など
- 3) メディア・リテラシーの向上に資するため、放送事業者の協力を得て、小中学生対象の出前授業、子供向け体験教室を実施。

(2) ジャパンサーチとの連携

内閣府知的財産戦略本部が中心となり進めている、デジタルアーカイブ構想における統合ポータルサイト「ジャパンサーチ」の構築に、放送番組センターは、放送番組分野の「つなぎ役」として参画、放送番組のメタデータ連携に協力している。